

設立記念

ぱんだの元気 I

障害者の権利擁護と成年後見

なんてたって新しい時代の福祉は利用者（障害者）が中心にいなければなりません。

そのためには権利をしっかり守り、成年後見も活用しないとな。

でも、なんだか難しそうだし、面白そうでもないし……

ということで、人気がなかったんですね。

そこで、PandA-J（ぱんだじえい）が誕生しました。「P」はprotection、「A」はadvocacy。

だれでもわかる、すぐに役立つ、楽しい情報誌「PandA-J」を発行してきました。

これからは調査研究・政策提言・たのしいイベントなどもいろいろやっていきます。

そのお披露目ということで、「ぱんだの元気 I」をやります。よろしくね。



2008年
12月18日
(木)

会場 日本財団ビル 2階 大会議室

〒107-8404 東京都港区赤坂1丁目2番2号 地下鉄銀座線・虎ノ門駅3番出口徒歩5分

日時 12月18日(木) 午後6時

参加対象 どなたでも! 定員 200名

参加費 シンポ無料、物産展 1000円

主催 NPO法人 PandA-J (代表 野沢和弘、副代表 大石剛一郎、堀江まゆみ、杉浦ひとみ、関哉直人)

ぱんだ
1

おれの後見人を紹介するぜ

わかったようでわからない後見制度、増えているようで増えていない後見人。

後見人がいるといった何が得なのか、どんな時に役立ったのか。

情報誌「PandA-J」の表紙を飾った人たちが語る成年後見制度。

米田光春-菊地哲也（弁護士）・別府数人-大塚めぐみ（後見スタッフ）・大矢和則（社会福祉士）

コメンテーター 大石剛一郎弁護士、関哉直人弁護士

ぱんだ
2

ラブレターはいらない

障害のある本人たちが語る「恋」「夢」「地域生活」……。

南雲明彦、米田光春、別府数人

コメンテーター 愛本みずほ（「だいすき!」原作者）

ぱんだ
3

パンダな人々、紹介します

PandA-Jを制作しているスタッフの紹介コーナーです。

・まゆまゆ……堀江まゆみ&相原まゆみ ・そねぼー……カメラマン曾根原昇

・現役記者……太田敦子（NHK記者）、市川亨（共同通信）、遠藤哲也（毎日新聞）

・とがちゃん……デザイナー富樫&タクトスタッフ



ぱんだ
番外編

「おいしいもの集合! 福祉施設のうまいもの物産展」 in 日本財団

日本財団が今進めている

「障害のある人たちがつくったおいしいもの物産展」をやります!

キリンビールも協賛の予定??

食べて飲んで、みんなでぱんだしましょう!!





開催日

「ぱんだの元気I～ 障害者の権利擁護と成年後見」
2008年12月18日(木)

申込み方法

【参加費】 設立集会は無料。その後の「うまいもの物産展in日本財団」は**1000円**です。

【参加申込について】

下記の用紙に必要事項をご記入のうえ、下記連絡先まで、メールか、Faxにてお申込下さい。

【申込締切日】平成20年12月17日(水)

※申込者多数の場合は、受付順に定員となり次第締め切らせていただきます。

定員オーバーのときのみ、申し込み2日以内に連絡します。連絡がない場合には参加可能です。

連絡先

NPO法人 PandA-J 事務局

Mail : info-genki-panda@shiraume.ac.jp

FAX: 042-344-1889

以下、必要事項をチェックしてください。

- ぱんだ元気。に参加します。
- 「うまいもん物産展」に参加します

申込用紙

氏名 (ふりがな)	
住所 (県・市町村名)	
所属名	
連絡先 (電話番号・E-mail)	

■ 皆様と一緒に参加される場合は、ここにいっしょにお名前をお書きいただいて結構です。

氏名 () () () ()
(ふりがな) () () () ()
() () () ()

合計 人

■ ぱんだに希望することがありましたらお書き下さい。